

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】特開 2003-306169 (P2003-306169A)  
 【公開日】平成 15 年 10 月 28 日 (2003.10.28)  
 【出願番号】特願 2002-109826 (P2002-109826)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 2 D 25/08

B 6 0 K 37/00

B 6 0 R 16/02

【F I】

B 6 2 D 25/08 J

B 6 0 K 37/00 E

B 6 0 K 37/00 Z

B 6 0 R 16/02 6 2 0 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 3 月 30 日 (2005.3.30)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

車両のインストルメントパネルを補強するとともに、大径中空部と小径中空部を有するリインホースメントであって、前記大径中空部及び前記小径中空部の外周面には、それぞれ車幅方向に延在する凹部が形成されており、前記大径中空部の凹部の深さは、前記小径中空部の凹部の深さよりも浅いことを特徴とするインストルメントパネルのリインホースメント。

【請求項 2】

前記大径中空部及び前記小径中空部に形成されている前記凹部に、電装部品に接続するハーネスが収容されることを特徴とする請求項 1 に記載のインストルメントパネルのリインホースメント。

【請求項 3】

前記大径中空部及び前記小径中空部は、金属素材により一体成形されており、前記大径部はステアリングが支持されることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のインストルメントパネルのリインホースメント。

【請求項 4】

車両のインストルメントパネルを補強するとともに、大径中空部と小径中空部を有するリインホースメントであって、  
前記大径中空部及び前記小径中空部の外周面には、それぞれ車幅方向に延在する凹部が形成されており、  
前記大径中空部に形成されている前記凹部における開口部と底部との距離は、前記底部と、前記凹部と反対側に位置する前記大径中空部の側面部との前記凹部の深さ方向における距離よりも短く、

前記小径中空部に形成されている前記凹部における開口部と底部との距離は、前記底部と、前記凹部と反対側に位置する前記小径中空部の側面部との前記凹部の深さ方向における距離よりも長いことを特徴とするインストルメントパネルのリインホースメント。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記した技術的課題を解決するため、本発明は、請求項 1 に記載のように、車両のインストルメントパネルを補強するとともに、大径中空部と小径中空部を有するリインホースメントであって、前記大径中空部及び前記小径中空部の外周面には、それぞれ車幅方向に延在する凹部が形成されていることを特徴とするインストルメントパネルのリインホースメントとした。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、大径中空部の凹部の深さは、小径中空部の凹部の深さよりも浅いことが望ましい。これにより、大径中空部にもハーネスを収容することができるとともに、凹部の深さを調整することにより、大径中空部と小径中空部を 1 つの中空管から製造することも可能である。従って、請求項 3 に記載のように、大径中空部及び小径中空部を、金属素材により一体成形することも可能となる。